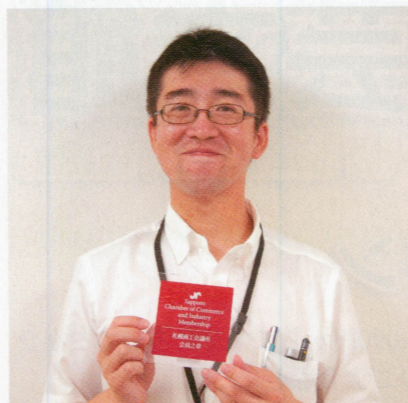




就職支援を通じて 人生をサポートしたい

特定非営利活動法人 ネクステージ
障がい者就労支援センター ストーリー

理事長 加藤 宏昭(かとう・ひろあき)氏

新たな就職支援 サービスをつくりたい

特定非営利活動法人ネクステージは、障がい者就労支援センター「ストーリー」を運営する今年四月に設立したばかりの法人だ。

理事長を務めるのは、加藤宏昭氏。大学卒業後、十六年間に、主に精神的障がいや発達障がいを持つ方の就労や暮らしをサポートしてきた。

昨年、ボランティアで発達障がいや不登校・引きこもりの子どもを持つ家族から相談を受けたが、長期的な就職活動をサポートする機関が少なかったため、自身で新たなサービスを作り、受け皿となりたいと考えた。

「障がいを持つ方の中には、就職をする意思はあっても、就職活動をする前の段階でサポートを必要としている方が大勢いらっしゃる。経営を度外視してでも、さまざまなニーズに応えられるようなサービスをつくりたい」と思い、独立しました(加藤理事長)。

法人を設立するにあたって、実務に関してはある程度経験も積んで自信もあったが、経営に関してはまったくの素人だったため、昨年九月に当所主催の創業支援ゼミナール(全六回)を受講した。

受講した感想を聞くと、「経営者として、従業員に安心して働いてもらうための経営ノウハウを学ぶだけではなく、ゼミを通してさまざまな人と出会い、つながることができ、参加してよかったと思っています。会議所には今も継続して相談に乗ってもらっています」と笑顔で答えてくれた。

一人の雇用で、企業や地域 経済の発展につなげたい

同センターでは、一人ひとりの希望やペースに合わせてサービスを受けることができる。その人がどういうモチベーションで、働いてどうなっていくか、どう生きていきたいかを時間をかけて見つけ出し、最終的に就職を目指す。「障がい者雇用に関心を示してくださる企業は近年増えてきています。だからこそ私たちは、就職活動を支援する側として、その人が笑顔で安心して働いていくために、自身の人生と向き合うことから手伝いをしたいと考えています(加藤理事長)」。

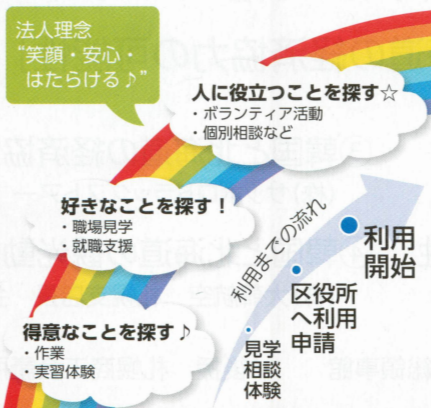
そうして就職先が決まれば、雇用した企業にとっては、長く一生懸命働いてくれることで貴重な人財となる。また、本人は働く喜びと共に、収入を得ることで、消費活動を行い納税者となる。「一人の雇用で、その人自身も企

業も地域経済も元気にしていくのが私たちに課せられた使命です」と加藤理事長は熱く語る。

もちろんそのためには、地域企業との連携も欠かせない。加藤理事長は「持っている経営資源を活かしながら、障がい者・健康者の枠組みを超えた形で、北海道経済の発展やそれぞれの暮らしの発展に結びつくような新たなサービスを一緒に作っていきましょう」と強く呼び掛ける。

ストーリーは、ひとりひとりの希望やペースに合わせた就職活動を支援します。

- ◎開所日:月～金(月1回土曜日)
- ◎開所時間:9:30～16:00
(①終日②午前のみ③午後のみ)
- ◎コース:
・チャレンジコース
(就労移行支援:定員6名)
・じっくりコース
(就労継続支援B型:定員14名)



住所:札幌市北区北10条西3丁目7-3 さつきハイツ
TEL:011-299-8714 FAX:011-299-7171